

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達センターたっく		
○保護者評価実施期間	2025年11月17日		～ 2025年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年11月17日		～ 2025年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は多機能型で、親子教室・児童発達支援・放課後等デイサービスを一貫して利用するお子さんが多いため、乳幼児期から学齢期までの発達経過を継続的に把握できる点が大きな強みです。長期的な関わりの子どもが多いため、アセスメント情報が豊富です。	サービス間で支援が途切れないように引継ぎを行い乳幼児期から学齢期までの支援内容、子どもの様子の観察、記録、アセスメントをスタッフ間で共有しています。	今後は、子ども達の発達課題やご家族のニーズをよりの確に捉え支援につなげるために、乳幼児期から学齢期につなげて評価できるようなアセスメントを行っていきたく思います。
2	活動スペースが十分に確保されている環境は、放課後等デイサービスにとって大きな強みです。	十分な活動スペースを有効に使うため、3～4人の小集団で活動できるプログラム内容を作っています。子ども達の特性に合わせた支援が行われるようにアセスメント、計画、実行、振り返りを意識して行なっています。	子ども達の状況、気持ちに応じた関わりが充足するように、さらに部屋や人材の配置に工夫をしたいと思っています。
3	子どもの送迎は保護者が行うため当日の活動内容やねらいを短い時間でも伝えることができることが強みです。「今日はこんな姿でした。」といったフィードバックがその場ででき、家庭での親子の会話のきっかけにもなっています。	短時間でも要点が伝わるよう話す内容を整理したり、子どもの行動を具体的に伝えることを意識しています。保護者が話しやすい雰囲気づくりに努めています。	職員間の連携を強化し、伝える内容の統一や情報共有を徹底することで、より質の高い支援につなげていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、保護者同士の交流や家族・兄弟が参加できる支援は土曜活動に限られており、平日には十分に取り入れられていないことが課題です。	・保護者や兄弟は学校・仕事があり、平日参加の難しさがあります。	・来年度は、長期休みにファミリーデーとして年間予定に組み込み開催する予定です。
2	地域の他の子ども達との活動を共有する機会が設けにくい点が課題です。	・今年度は、地域の社会福祉協議会主催のポッチャ大会に参加し、そこに参加をされていた地域の放課後等デイサービスの子ども達と顔を合わせることがありましたが、事業所所有の送迎車もないため、他事業所との交流や接点をもちにくところがあります。	・事業所内で地域とつながるイベントを開催を模索し検討していきます。(例えば防災イベントや夏まつりなど) ・社会福祉協議会や地域のボランティアさんを招くなどのイベントを考えていきます。
3	現在、土曜日のみ家族に対しての家族支援プログラムが行われていますが、平日は行っていません。家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設けることができていないことが課題です。	・家族の方が、仕事がある方が多く平日参加の難しさがあります。職員体制の難しさなどから今年度は開催できませんでした。	・来年度は、家族支援プログラムを開催予定のため、その中で、家族等に対しての研修や情報提供を一緒に組み込みたいと考えています。